



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月7日

上場会社名 共同印刷株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7914 URL http://www.kyodoprinting.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 康彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡邊 秀典 TEL 03-3817-2101
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	21,678	△1.1	33	△2.4	356	7.2	80	20.6
25年3月期第1四半期	21,925	△3.5	34	△85.7	332	△40.7	67	△60.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 380百万円 (-%) 25年3月期第1四半期 △200百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.92	—
25年3月期第1四半期	0.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第1四半期	96,378		49,872		51.7
25年3月期	96,738		49,840		51.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 49,871百万円 25年3月期 49,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	1.4	500	40.9	800	7.0	400	—	4.56
通期	96,000	1.9	2,000	10.3	2,600	6.4	1,400	△2.6	15.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	90,200,000株	25年3月期	90,200,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,409,162株	25年3月期	2,408,352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	87,791,348株	25年3月期1Q	90,094,109株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果により、株価の上昇や円安基調への転換などで緩やかな回復がみられましたが、一方で、欧州の財政危機や中国の経済成長減速などの海外景気への不安感から依然として先行きは不透明な状況にあります。印刷業界においても、紙を中心とした従来の印刷物は、市場縮小と競争激化による受注価格下落の影響を受け厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、BPOをはじめとする業務支援サービスの受注拡大と、独自技術を生かした高機能製品の拡販に努め、印刷を核にした事業領域の拡大を推進しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は216億7千8百万円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益は3千3百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益は3億5千6百万円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は8千万円（前年同期比20.6%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

出版商印部門

出版印刷では、市場が縮小する中、付加価値のある付録や仕様の提案を行うとともに、コンテンツのデジタル化対応業務に取り組みました。その結果、定期刊物とコミックスが増加しましたが、単行本や絵本などの書籍が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、ITを活用したサービスメニューの充実に努め、得意先の販促支援や業務支援につながる提案を積極的に進めましたが、情報誌やカタログ、パンフレットが減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は94億4千1百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失は2億2千1百万円（前年同期は営業損失3億2千6百万円）となりました。

ビジネスメディア部門

ビジネスメディア部門では、データプリントの受注拡大を目指してフルカラープリンタを活用した提案を行うとともに、官公庁や金融機関を中心にBPOの受注拡大に取り組みました。

その結果、データプリントやBPOを含むビジネスフォームが増加し、抽選券などの証券類やICカードも増加したため、部門全体での売上高は72億4千6百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は2億9千7百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

生活・産業資材部門

生活・産業資材部門では、オーバルラミネートチューブをはじめとする当社開発製品の拡販に努めました。また医薬分野や電子部品分野において「モイストキャッチ」等の高機能製品の提案を行うとともに、展示会出展を通じて新規顧客の開拓を図りました。

産業資材が増加し、チューブや建材製品も増加となりましたが、紙器や軟包装は減少したため、部門全体での売上高は46億4千2百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は2千6百万円（前年同期比87.6%減）となりました。

その他

売上高は3億4千8百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は1千6百万円（前年同期比75.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりになりました。

総資産は、963億7千8百万円（前連結会計年度末967億3千8百万円）となり、3億6千万円減少しました。これは、流動資産の現金及び預金が15億4千9百万円、投資その他の資産の投資有価証券が4億7千1百万円増加した一方、流動資産の受取手形及び売掛金が27億6千3百万円減少したこと等によるものです。負債は、465億5百万円（前連結会計年度末468億9千8百万円）となり、3億9千2百万円減少しました。これは、長期借入金が6億7千2百万円減少したこと等によるものです。純資産は、498億7千2百万円（前連結会計年度末498億4千万円）となり、3千2百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金2億9千5百万円、四半期純利益8千万円による増加の一方、配当金の支払い3億5千1百万円により利益剰余金が減少したこと等によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億1千8百万円増加し、145億9千5百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第1四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、39億6千7百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3億2千8百万円、減価償却費10億5千万円の計上及び売上債権が28億2千1百万円減少したこと等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、13億2千4百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出12億9千万円があったこと等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、11億2千9百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出7億2千2百万円と配当金の支払額3億5千1百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました業績予想から変更してありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,403	14,953
受取手形及び売掛金	27,437	24,673
商品及び製品	2,234	2,466
仕掛品	2,182	2,432
原材料及び貯蔵品	697	708
繰延税金資産	1,198	1,217
その他	395	663
貸倒引当金	△65	△66
流動資産合計	47,482	47,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,767	12,511
機械装置及び運搬具（純額）	8,550	8,318
工具、器具及び備品（純額）	497	502
土地	15,476	15,476
リース資産（純額）	709	751
建設仮勘定	139	168
有形固定資産合計	38,141	37,728
無形固定資産		
ソフトウェア	866	966
その他	114	115
無形固定資産合計	980	1,081
投資その他の資産		
投資有価証券	8,889	9,360
長期貸付金	14	12
繰延税金資産	484	308
その他	859	1,030
貸倒引当金	△114	△192
投資その他の資産合計	10,133	10,520
固定資産合計	49,256	49,330
資産合計	96,738	96,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,460	18,419
1年内返済予定の長期借入金	3,179	3,055
リース債務	221	234
未払法人税等	353	202
賞与引当金	1,065	341
役員賞与引当金	40	13
その他	5,184	6,238
流動負債合計	28,504	28,506
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	5,160	4,611
リース債務	534	567
繰延税金負債	174	184
退職給付引当金	5,264	5,409
環境対策引当金	70	68
資産除去債務	43	43
その他	145	115
固定負債合計	18,394	17,999
負債合計	46,898	46,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	42,188	41,918
自己株式	△545	△545
株主資本合計	47,896	47,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,942	2,237
為替換算調整勘定	2	7
その他の包括利益累計額合計	1,944	2,245
少数株主持分	—	1
純資産合計	49,840	49,872
負債純資産合計	96,738	96,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	21,925	21,678
売上原価	18,545	18,340
売上総利益	3,379	3,337
販売費及び一般管理費	3,345	3,304
営業利益	34	33
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	112	107
物品売却益	81	78
設備賃貸料	31	31
保険配当金	115	128
その他	56	40
営業外収益合計	398	386
営業外費用		
支払利息	66	57
手形売却損	0	—
設備賃貸費用	3	3
持分法による投資損失	15	17
貸倒引当金繰入額	—	△22
その他	14	8
営業外費用合計	101	64
経常利益	332	356
特別利益		
固定資産売却益	1	11
特別利益合計	1	11
特別損失		
固定資産処分損	30	17
投資有価証券評価損	53	22
特別損失合計	83	39
税金等調整前四半期純利益	250	328
法人税等	183	248
少数株主損益調整前四半期純利益	67	79
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益	67	80

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	67	79
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△300	295
為替換算調整勘定	33	5
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△267	301
四半期包括利益	△200	380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△200	382
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	250	328
減価償却費	1,007	1,050
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	129	144
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	78
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△684	△723
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△26
受取利息及び受取配当金	△113	△107
支払利息	66	57
持分法による投資損益 (△は益)	15	17
有形固定資産除売却損益 (△は益)	28	5
売上債権の増減額 (△は増加)	3,297	2,821
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△749	△492
仕入債務の増減額 (△は減少)	7	△41
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△124	98
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△131	△201
未払費用の増減額 (△は減少)	1,292	1,458
その他	374	△161
小計	4,651	4,305
利息及び配当金の受取額	114	108
利息の支払額	△64	△66
法人税等の支払額	△270	△379
法人税等の還付額	2	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,433	3,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△428	△1,290
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△3	△49
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	56
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△12	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△442	△1,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△164	—
長期借入金の返済による支出	△561	△722
配当金の支払額	△360	△351
その他	△45	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132	△1,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,892	1,518
現金及び現金同等物の期首残高	11,851	13,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,744	14,595

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版商印 部門	ビジネスメ ディア部門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,047	6,828	4,731	21,607	317	21,925	—	21,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	183	145	87	417	1,854	2,271	△2,271	—
計	10,231	6,974	4,819	22,025	2,171	24,197	△2,271	21,925
セグメント利益又は 損失(△)	△326	262	217	153	70	224	△189	34

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版商印 部門	ビジネスメ ディア部門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,441	7,246	4,642	21,329	348	21,678	—	21,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	210	88	657	1,790	2,447	△2,447	—
計	9,799	7,457	4,730	21,987	2,138	24,126	△2,447	21,678
セグメント利益又は 損失(△)	△221	297	26	102	16	119	△85	33

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。